



勝光寺ホームページ

# 勝光

令和6年3月号  
庄原市三日市町  
276-3  
浄土真宗本願寺派  
勝光寺  
Tel 0824-72-0552  
Fax 0824-72-0910

追弔法要をお勤めします。  
午後のお預かりを始めた永代墓の  
追弔法要をお勤めします。

午後1時  
永代墓納骨者追弔のお勤め  
永代墓前

午前9時半 朝席  
午後1時半 昼席

講師 真澄慎一師  
世羅町 善行寺住職

三月二十三日 (土)  
春彼岸法座

お彼岸には、永代墓の納骨者法要をお勤めします。  
(雨天の場合は一時半からの昼席でお勤めします。)  
彼岸の季節になりました。春の柔らかな光に身を包みながら、阿弥陀様のお徳を十分に味わわせていただきたいものです。  
『御齋(昼食)』の弁当注文のご案内  
当日、お昼の御齋を勝光寺で召し上がっていただける方には弁当を用意します。お弁当代の、五〇〇円を負担していただくことにしています。  
準備の都合上3月17日(日)までに勝光寺までご連絡ください。

# 令和6年能登地震義援金

令和6年能登半島地震により被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。また、このたびの地震によりお亡くなりになられた皆様、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。  
今回の震災では浄土真宗の寺院だけでも511か寺の寺院が被災されています。西本願寺では災害支援センターが設置されると共に、義援金の募集が始まりました。  
勝光寺としまして、去る1月16日(火)にお勤めした「ご正忌法座」にお参りいただいた皆様のお供えから、50,000円の浄財を本願寺に送らせていただきました。ご門徒の皆様にご報告申し上げます。



被災寺院の様子



## 子供のための募金 ダナ・フォー・ワールドピース



西本願寺では、2018年より「貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～子どもたちを育むために～」を掲げて募金活動に取り組んでいます。  
勝光寺でも本堂に募金箱を置き、募金呼びかけていました。  
この度、皆様からご寄付いただいた浄財 **¥14,253-** を、本山に送金させていただきました。  
この支援金は、浄土真宗の有志で国際的に活動する団体、ネパールの子どもたちへの支援、寺院での子ども食堂への支援、養護施設、学習支援を行っている寺院へ送られ、活用されています。



## 他力の意味

他力の語が用いられるとき、「他人の力をあてにすること」と理解されていることが多いです。

浄土真宗では、親鸞聖人が「他力といふは如来の本願力なり」とおっしゃっているように、他力を他人の力という意味で用いてはいません。少し難しい話になりますが、中国のお坊さん曇鸞大師（どんらんたいし）が「他力とは『仏』が『他』である私を利益する、つまり『あなたを救う』という救済活動を表現する言葉

だ」と示してくださっています。

曇鸞大師のお心を大切にされた親鸞聖人が『他力』を阿弥陀仏の『利他の力』として受け止められていかれました。

「力」とは何かを動かし、変化させていくもののことをいいます。『他力』といった場合も、阿弥陀様が願われたとおりに、全ての命に働きかけて「本願を信じさせ」「南無阿弥陀仏をとなえさせ」「浄土へ往生させていくはたらき」そのものを指します。

お念仏することも、仏法をきくこともなかった私が、南無阿弥陀仏のお念仏を称え、身近な人の命の行方や自分の命の有り様を考えるようになったと気がついた時、私を変えてくださった働きこそが「他力」であると味わっていたのだと思います。

阿弥陀仏の強大なはたらきを「他力」と喜ばれたのが、親鸞聖人であり、お念仏に生きた先輩方であったのです。

## 勝光寺ホームページ活用方法

勝光寺ではホームページを立ち上げました。年回法要の日どりを活用していただくのに、スマートフォンに準備してお読みください。

### 1 QRコードを読み取る



### 2 トップページを開く



### 3 下にスクロールして法事を勤めたい日を確認する

金曜日	土曜日	日曜日
1	2 午前法事 午後仏法講 午前 法事 暮会	3 ご法事
8	9 晨朝7:00 午前 法事	10 午前・午後共にご法事 午前・午後共にご法事
15	16 前後観音法要	17 任職、終日予定あり
22	23 祝日法要のみ	24
29	30 尾道ご法事	

希望日が空いているか確認できます。午前・午後に分けて予定が書いてあります。空白は予定が入っていない日です

## 護持会費 値上げのお知らせ

昨年の護持会総会において、令和六年から護持会費を5,000円に値上げすることが承認されました。諸物価高騰の折、ご門徒の皆様には「ご負担をおかけ致しますが、よろしくお願い致します。」

## 仏教婦人会便り

心も体もリフレッシュの会  
3月1日(水)

会場 勝光寺本堂  
講師 石井 克子 先生

ストレッチや軽い体操で体を動かしましょう。

## 令和6年念仏奉仕団参加案内

5年ぶり開催 **第34回(2024年度) 比婆組念仏奉仕団参加者募集**

企画主催：比婆組 旅行業務委託先：関ビーエス観光

日程 2024年6月3日(月)~5日(水)

1日目：朝各地発、西本願寺清揚奉仕活動 京都泊：開法会館 075-342-1122  
2日目：午前奉仕活動、午後大谷本願寺参拝 人と防災未来センター 須磨温泉(舟橋 陸水亭)泊 078-731-4351  
3日目：教信寺(加古川市)、舞子海上プロムナード、魚の瀬商店街、御旅乃糸資料館 ※3日目夕食はバスで弁当をお配りします。

参加費用 58,000円 (写真代は別途必要)  
申込方法 所属寺へ4月末日までにお申し込み下さい。

●ご本山での清持奉仕を通して仏縁の結びを深める念仏奉仕団に参加しよう。  
日程中には、ご法話、ご門主さまからのご挨拶・記念撮影、国章・重要文化財に指定されている書院の様観、抹茶の接待などがあり、実りや心に残るご体験になることと思います。

●「帰敬式」を愛用しましょう。  
帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。この帰敬式を愛用され、仏弟子となった方には本願寺住職(ご門主さま)より法名が授けられます。

### 京都・本願寺～教信沙弥を訪ねて(加古川市・兵庫県の旅)



教信寺・加古川市  
親鸞聖人が深い尊敬の念と親しみを込めて自らの生活の根本と仰がれた教信沙弥ゆかりの地。聖を別らず法衣を着ず田畑を耕作し生活の質を得た。當に名号を授けて人々にも勧めたので「阿弥陀丸」と呼ばれたと伝えられる。

人と防災未来センター(神戸市)  
阪神・淡路大震災の経験と教訓を世界に、そして未来へと発信する災害ミュージアム。地震発生時の瞬間を再現した映像上映や、震災直後の暮らしを再現したジオラマ展示、被害者から提供された震災関連資料展示、幅広く災害について学ぶことができます。

明石・魚の瀬商店街  
地元では「うおんたな」と呼ばれる明石の魚の会館。全長350mのアーケードには、卸売店や土産物店を中心に約100軒もの店が軒を連ねる。基調であった新鮮な明石鯛や明石マグロ、季節の鮮魚を求めて地元の買物客や観光客で大賑わい。



## 坊守と語る会を開きました

早朝はうっすらと雪化粧した2月5日(日)、仏教婦人会の主催で、坊守と語る会を開きました。25名の会員の皆さんに参加いただき、熱心に話をお聞きくださいました。参加者の皆さんで交流も行い、賑やかに盛り上がりました。